

日本学術会議
公開シンポジウム

日時・場所

平成25年
11月18日(月)
13:00~17:40

日本学術会議講堂(東京都)
〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34



東日本大震災に係る 食料の安全・安心を担保する 生産・流通システム

入場無料 先着300名
当日参加可

平成23年3月11日に発生した東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所事故による放射能汚染は、農業生産活動および生産物の流通に、事故発生2年半を経過してもなお長期的かつ多大な影響を及ぼしている。食料の安全な生産と供給が農業者、消費者を問わず国民の重大な関心事であることから、農業情報システム学の視点から、喫緊の課題である放射能汚染を念頭に置きながら、食料の生産・供給に関する安全性とそれを支えるシステムについて問題点を整理し、今後の課題を共有するための議論を行う。

次第

	(司会) 町田武美(日本学術会議連携会員、放送大学客員教授)
13:00~13:10	開会の挨拶 野口 伸(日本学術会議会員、北海道大学大学院農学研究院教授)
13:10~13:50	農地の除染技術と精密復興農業のスキーム 渋澤 栄(日本学術会議連携会員、東京農工大学大学院農学研究院教授)
13:50~14:30	低汚染土壌の放射性核種濃度と農作物への移行 大下誠一(日本学術会議連携会員、東京大学大学院農学生命科学研究科教授)
14:30~15:10	食品の安全性確保に向けた農業生産工程管理(GAP)/ITの活用 齊賀大昌(農林水産省 生産局 農産部技術普及課 課長補佐)
15:10~15:25	休憩
15:25~16:05	東日本大震災に学ぶフードセーフティチェーンの必要性 松田友義(千葉大学大学院園芸研究科教授)
16:05~16:45	大規模災害時の食料供給の課題と復興支援 藤井滋生(イオン株式会社 商品最高責任者付き、生鮮デリカリーダー)
16:45~17:00	休憩
17:00~17:30	総合討論 (司会)大下誠一(日本学術会議連携会員、東京大学大学院農学生命科学研究科教授) (コメンテーター)各講演者
17:30~17:40	閉会の挨拶 大政謙次(日本学術会議会員、東京大学大学院農学生命科学研究科教授)
17:40	閉会

主催

日本学術会議 農学・食料科学委員会 農業情報システム学分会

後援

農業食料工学会、農業施設学会、日本農業気象学会、農業情報学会
生態工学会、日本生物環境工学会、農業農村工学会、日本農作業学会、農村計画学会

問合せ先

日本学術会議 TEL:03-3403-3793(代表) FAX:03-3403-1640

申込先

東京大学 生物プロセス工学研究室 mail: amakino@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp
御氏名・御所属をご記入の上、メールにてお申込みください
(その際、件名を「日本学術会議公開シンポジウム参加申込」としてください)